（本號八面）　（遞信省認可）　明治二十四年十一月廿七日印　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

第三千百九十七號
明治廿四年十一月廿七日金曜日
舊暦辛卯十月廿六日（丁、巳）
（西暦一千八百九十一年）

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜日休刊

〇時事新報社より直接に郵送スルモノハ右定價ノ外に一箇月十三錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上	七日以上
一行	一付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社あるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

才子的政略

世人の言を聞くに今の政府は才子に富めりと云ふ果して然るや否やを知らざれども其政略を見るに何ぞ夫れ才子的の擧動多きや抑も才に大あり小あり才子必ずしも一概に厭ふ可らざると雖も世間普通の見解に從へば才子とは才の小なるものにして俗に云ふ小手利の者を指すが如し政治の事は多岐多端にして殊に變通の略に至りては小手利を要するの場合も少なからざれども才子の患は目前の事に密にして遠大の計に乏しきに在り局部の事に通じて全體の利害に明あらざるに在り即ち才子の才子たる所以にして一時の間に合せには調法あれども此種の筆法を以て苟めにも政略の清書に擬するとありては結局政府の爲めに不利あるを得ず例へば近來の新聞紙を見るに自から御用新聞とみそ名乘らざれども其句調語氣は微妙の間に政府辨護の役を以て任ずるものあるが如し既に政府あれば碓て御用新聞あるは怪しむに足らざれども此種の微妙新聞に至りては表には左あらぬ體に粧ひながら其實は樣々に筆を運らし政府の事とあれば力を盡して辨護の任に當り民間の人に對しては立入る可らざる私事にまでも立入りて公言憚る所なし極端に之を評すれば新聞の御用に非ずして寧ろ探偵離間の御用を勤むると云ふも可なり或は斯る擧動は其筋の發意に非ず記者自身の忠義心に外ならずと云ふ者もあれども果して忠義の精神あらば公然自から現政府の機關ありと明言して差支はなかる可し今の政府は必ずしも悪政府に非ず其施政の得失を論じて贊成す可き部分も少なからざれば青天白日に之を辨護して苟も政府に不利なる言論を放つ者あらば之を攻擊して毫も假すみとなく飽くまでも論究して他を壓倒するみ、男子の事なれ然るに謀みゝに出でずして動もすれば陰險なる文字を用ひ御用を勤るが如く勤めざるが如く曖昧模糊の間に人を瞞着せんとして却て自から其馬脚の既に現はるゝを悟らず恬として愧る色なし其文章の拙劣にして愚なるは笑ふ可く其心事の穢くして破廉耻なるは卑しむ可きのみならず斯くて其本分たる政府辨護の爲めに寸効もなくして正しく其反對の害を爲すこと氣の毒なれ我輩は唯その拙劣不德を憐むのみ世人が此種の新聞紙を見て官邊才子の發意なりとするも無理ならぬ推測にして結る所は政府の不利と云ふの外なし左れば政府に於ていよ〳〵斷然の覺悟あらんには當路者が自身にて言論の衝に當りて縱横無盡に働くは勿論、必要とあれば機關新聞を發兌し民黨に對して之れ本意なれ假令ひ敗すればとて心地よき次第なるみそ本意なれ假令ひ敗すればとて心地よき次第なるに今日の有樣にては決斷したるが如くせざるが如く何は曖昧の間に居ながら僅か二三の新聞紙を內々使用して身勞無責任の言を吐くに任せて竊に他を愚し得たりと爲すが如き眞に小才子の見識にして之が爲めに得る所はおく唯識者の厭惡を來たしてますゝ世間の人望を損するに足る可きのみ又彼の憲法解釋論の如き我輩の毎度陳べたる所にして法文は萬世不拔のものにして動かす可からざると雖も其解釋は事實に就ての問題たるに過ぎず單に議論の上にて爭ふときは理窟の付けやう次第にて一時の勝敗はある可しと雖も是れは全く一時の沙汰にして結局の勝敗は事實の勢力如何に歸せざるを得ず政府が今日解釋の限界を嚴にして其防禦線內に籠城せんとするも實際の勢力如何に由りて解釋論も自然に左右せざるを得ず解釋論の防禦は頼むに足らざるなり彼れと云ひ是れと云ひ都て是れ才子的の政略にして本來斯る政略の由て來る所の起原を推測するに我輩は內部の事情に不案內なるものなれども獅子の子は生れながら獅子にして蛙の子は生れながら蛙ならざるを得ず今の政府に才子多くして隨て其政略も才子的なるは自から血統の傳はるものある可し彼の世間にて黑幕と稱する老政治家の擧動を見るに其進退出處如何にも輕滯にして所謂當世の才子風を具へ隱然政府部內に一種の勢力を有して殊に其麾下に屬する人物も少なからざる由なれば或は以心傳心の間に其氣風を受けて自から其政略の上にも現はれたるものなるんか果して然らば寧ろ其當人の擧動に訴へざる可らず言を寄す今の黑幕の老政治家、才子流の擧動を外にして更に新奇の趣向はなきや、或は生來の習慣既に性を爲して今更改むること能はざるならば此處全く手を收めて暫く他の自由運動に任せては如何、才子流の政略も一時は妙あれども自から之を屢ばするのみなら ず他をして其禦に做はしむるなどは世人の既に厭ふ所にして又自家の得策にも非ざる可し

官報

○司法省告示第百九號
宮崎地方裁判所管內高千穗區裁判所ニ於テ明治二十年十二月十一日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十四年十一月二十六日
司法大臣子爵田中不二麿呂

○遞信省告示第二百六十四號
但馬國養父郡養父市場郵便局ヲ養父郵便局ト改稱ス
明治二十四年十一月二十六日
遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百六十五號
來ル十二月一日ヨリ攝津國有馬郡三田郵便局ヲ三田郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハシム
明治二十四年十一月二十六日
遞信大臣伯爵後藤象二郎

雜報

○宮城縣第五撰擧區の新競爭者　同縣の代議士撰擧は愈々期日の切迫するに從ひて一層競爭の激烈を加へ首藤氏は丸山名政加藤政之助小川三千三等の諸氏來援し伊澤、佐藤の兩氏も亦相應の應援者ありて頻りに奔走し互に一歩を讓らざる模樣あるに茲に三氏の外一の新候補者現はれ出で俄かに烈しき運動を始めたるは本吉郡の伊達宗亮氏にして同氏は元來本吉郡に潛勢力を有し居れば是亦三氏とも忽にすべからざる一大强敵なりと云ふ

○競爭のために縣會議員の職を辭す　宮城縣第五區の候補者たる同縣々會議員首藤陸三氏は各候補者中にても其勢力最も著るしきもの〻由なるが競爭のために當時縣會中なる縣會に出席するの暇なきより斷然縣會議員の職を辭したりと云ふ

○茨城縣會と郡衙新築議案　茨城縣那珂郡の郡衙は同郡の中央なる管谷村に在りしを同郡の東端なる湊町に移さんとて湊町民が新築費を募集せしより管谷村にても新築費を募集して之と抗し遂に縣廳の許可を得たりとか得ざるとかの間に紛議を惹き起して一時は何百名の村民縣廳に迫るなどの騷きもありしが今度開會中ある同縣々會にては同郡衙の新築議案下附方を縣廳へ請求するみとに可決したりと云ふ

○關東々北教育懇談會　は去る二十二日午前八時半より仙臺の第二高等中學校講堂に開き辻大日本教育會長は開會の趣旨を述べ日下部手嶋上原等の諸氏實業教育に關する意見を演說し午後より船越知事及び辻會長の演說あり次に吉武及びフィヲク氏等の化學物理學に關する實驗談ありて午後五時散會し夫より同地の幽翠館に於て懇親會を開きしに來會者百五十餘名にて盛宴を張り翌二十三日は午前八時開會西村矢田部平沼等諸氏の演說ありて午後六時頃散會したるよし

○軍艦愛宕　は去る二十四日清國天津に向け朝鮮國仁川港を抜錨せりと

○野外演習及び射擊　教導團工兵生徒隊は昨二十六日より三日間千葉縣下藥園臺新田及び大和田附近に於て野外演習を執行し今二十七日午前は習志野原に於て遠距離射擊を執行するよし

○入院患者に金圓附與　皇后陛下の令旨を奉じ愛知岐阜の兩縣下へ出張したる長崎宮內大臣秘書官は去る二十一日愛知縣葛目寺村に假設の病院を巡視し負傷者の病狀を懇に問ひたる末患者へ金圓を附與したる由該地出張の職員より其向へ通知ありしと

○十五萬圓の手附流、製鐵會社の解散　日本製鐵會社は去五月の株主總會に於て川崎八右衛門外二名を委員とし兼て兵庫川崎造船所に渡したる同所買上の手附金十五萬圓を手附流となさず起々に殘金を仕拂ひ遂に會社が將來に望を達せんとの目的たるも結局殘金即ち五十萬圓を流はざれば手附流れとなすの外なく該殘金を仕拂ふか或は手附を流に歸したり依て去る廿三日午後株主臨時會を開きたる處今更に株を買入るゝも往々の見込も立難く斷然十五萬圓を投げ捨て解社し分整理委員として半田庸太郎外一名散は來る三十日限りとなし事務を以て終る筈なり而して目下同社の貸金其他を合して凡そ十萬圓內外以て本年春季に五圓宛募集せんと對する募集金七百三十六圓丈は餘は材料拂込金額に應ずる債權よりあるが右等の爲め昨日午後橋の柳屋に於て委員會を開きたり

○仲裁委員の奔走模樣　札幌製糖東京株式仲買人全體より過日須上太三郎外三名へ仲裁を申込たる記したるが相方とも疾かに右の通り既に須藤外三氏は訴訟の顚末等は損害要償の起訴を見合せ何員よりの切出し方如何を待居る此程より紛議に係る證書の成立を聽く由なるが氏は米國にて銀行掛りの事實等を調査せしに右を終りしかば今は紛議の根本法の裁決に付き協議中なるよし

○銀行に關する談話　京濱同盟銀行集會所に會して土子金四郎氏は米國にて銀行掛りの事實等を調査せしに右を終りしかば今は紛議の根本法の裁決に付き協議中なるよし

○博覽會出品目錄の調査　米國事務所に於ては去る二十四日より手せり

○學術講談會　明二十八日午後會堂にて金井延（スタイン先生洲歷世哲學）二氏の講演ありと

○中央衛生會　一昨廿五日內務會にては過般赤痢病視察の爲め巡回し此程歸京したる猪方醫師時間の都合に因り同會の問題たる會へ廻したるよし

○大坂南區役所の新築落成式　決議を以て建築費一萬八千圓計一丁目に新築中ありしが今度落トし移轉及落成式を行ひたるよ

○帽鐵工試驗　は一昨廿五日より て施行したるに最初志願者は九席受驗者は五十六名ありしと又を施行し今二十七日より三日間

第證書授與式は來月一日頃なる

○及第證附與　赤坂區葵池町あ る十四日より第十二回獸醫開業 が志願人八十五名の內新潟縣平 へ去る二十四日及第證書を附與

NAGAI